

鳥インフルエンザの発生を防止しよう

鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥によって海外から持ち込まれると考えられています。秋から冬は渡りが始まり本病発生の警戒が必要となる時期ですので、次のことに注意しましょう。

◎家きんを飼っている場合

- ①渡り鳥や野鳥との接触を避けるため、野外での放し飼いをしないようにしましょう。また、飼育小屋は防鳥ネット（2cm角以下）で囲い、野鳥が入らないようにしましょう。
- ②飼育小屋を定期的に消毒し、清潔な状態で飼育しましょう。
- ③世話をするときには、専用の履物や衣服を身に着け、終了後は履物、衣服、手指の消毒をしましょう。
- ④家きんの死亡が続くなど異常がみられた場合は、すぐに「つがる家畜保健衛生所」に連絡してください。
 ※家きん…鶏、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥、七面鳥

◎死亡した野鳥を見つけた場合

- ①素手では触らないようにしましょう。
- ②多数の野鳥が、まとまって死亡している場合には、市農業政策課、ま

たは中南地域県民局地域農林水産部 林業振興課にご相談ください。

③病気以外で死亡した野鳥を処分する際は、ビニール袋に入れ一般ごみとして処分してください。

●農業政策課（☎ 40・7102）／西北地域県民局地域農林水産部 つがる家畜保健衛生所（☎ つがる 0173・42・2276）／中南地域県民局地域農林水産部林業振興課（☎ 33・3857）

夜間・休日納税相談のご利用を

▽夜間納税相談 12月12日・15日～19日の午後5時～7時半

▽休日納税相談 12月14日・21日の午前9時～午後4時

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談においでください。

今月の休日納税相談日は第2・3日曜日です。この日は電話での相談や、市税などの納付もできます。

●収納課（市役所2階、窓口205、☎ 40・7032、40・7033）

介護職員初任者研修 受講者募集

短期間での資格取得が可能です。

▽とき 1月6日～2月6日（土・日曜日、祝日を除く）

▽ところ JMT C弘前教室（外崎4丁目）

▽対象 ①～③に該当する人

- ①市内に住所を有し、失業中で求職中の女性または40歳未満の男性／
- ②現在、雇用保険受給中か、ハローワークに登録して、求職活動をしている人／
- ③全日程講座に出席でき、就労意欲の高い人

▽定員 10人（先着順）

▽受講料 無料（テキスト代などは自己負担）

▽申し込み方法 12月19日までに、申込書、印鑑、雇用保険受給資格者証の写し（受給者のみ）、ハローワークカードの写し、身分証明書（運転免許証など）の写しを添えて商工政策課就労支援係（市役所6階、窓口652）にお申し込みください。なお、申込書は商工政策課で配布しています。

※受講者の選考あり。詳しくはお問い合わせください。

●商工政策課就労支援係（☎ 35・1135）

新・緊急通報システム 事業開始

病弱等により緊急通報を必要とする高齢者などに緊急通報システムを貸与する事業を拡大し、これまで対象にならなかった、課税世帯や家族と同居している高齢者などにも緊急通報装置を貸与します。

▽対象 市内に住所を有する病弱な高齢者、重度の身体障がい者などが属する全ての世帯（世帯員がいる場合、就労などにより長時間、世帯員が不在となる場合に限る）

※家庭にアナログ電話回線があること（回線の種類によっては設置できない場合があります）。

▽利用料（1カ月当たり）①世帯全員が住民税非課税の場合＝1,080円／②世帯に住民税課税者がいる場合＝1,620円

※毎年、課税調査を実施することなどから、利用料が変更になる場合があります。

●介護福祉課高齢福祉係（☎ 40・7114）

今月の市税などの納期

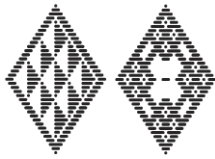
納期限 1月5日

国民健康保険料 第6期
 介護保険料 第6期
 後期高齢者医療保険料 第6期

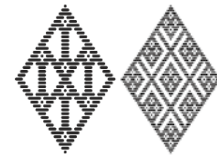
- ☆今月は第2・3日曜日が納税相談日です。
- ☆納税は便利で確実な口座振替のご利用を。
- ☆納期限を過ぎると督促手数料や延滞金が加算される場合があります。

もっと②♥弘前！！

学生企画コーナー



こぎんを徹底追求 —その魅力とブームの秘密に迫る！—



数年前からブームになっている「こぎん刺し」。昔ながらのデザインから現代風にアレンジされたものまで、街で見かけることが多くなっています。今月はひろ♡レポがこぎん刺しを体験、こぎん刺しの先生にインタビューし、その魅力をお伝えします！！

こぎん刺しとは？

皆さんもご存じだと思いますが、こぎん刺しとは弘前に伝わる刺し子の技法のひとつであり、もともとは津軽地方の農民たちが冬の寒さから逃れるために、紺麻布の布目を白い麻の糸で埋めたことで生まれた技法です。偶数の目で刺す青森県南部の菱（ひし）刺しに対して、こぎん刺しは奇数の目を数え刺します。そうすることで模様とががり、格好よく見えるようです。現在は色もカラフルに、またさまざまなシーンで活躍し、老若男女に愛され続けています。

こぎん体験

今回は百石町にあるこぎん材料などの手芸品を販売している「しまや」さんにご協力していただき、クルミボタンとコースターの製作に挑戦！

① 好きな生地と糸選び



② 先生のアドバイスを受け



④ 完成！！

③ 専用の機械でプレス



こぎんの魅力を語る

製作体験後、こちらで働く横島さんに聞きました。5年ほど前に全国的に雑誌やテレビで紹介されたことからブームが到来し、横島さんもこぎん刺しの魅力にはまりました。「奇数ごとに編み込み進めていくと、こぎん刺し特有のシャープな模様がふっと浮かび上がってくる。この瞬間が一番面白い」と感じるそうです。

「モドコ」と呼ばれる基礎模様を組み合わせたさまざまな模様があり、店内のコーナーにも多数展示してありました。今では学生や主婦、高齢者まで幅広い世代に大人気なのだそうです♪こぎん刺しは地元の伝統工芸なので、ぜひ親子で作ってみてほしいと話していました（^^）

編集後記

メンバーのほとんどがこぎん刺し初体験で、最初は苦戦していましたが、作業が進むにつれ、徐々に模様が見えてきてみんな感動していました。こぎん刺しは、小さな子どもからお年寄りまで気軽に体験できる伝統工芸です。皆さんも目で見て楽しむのはもちろん、実際に体験してみたいかどうか。

ひろ♡レポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足された、広報ひろさきで学生企画コーナーを担当する女子大生グループです。問い合わせやご意見・ご感想はEメール (hiro.repo@gmail.com) で。Facebook (<http://www.facebook.com/hiro.reporters>)、Twitter (@HiroRepo) もやっています！興味のある人はどうぞ（^^*）